

特集 平成11年度研究報告：計画研究・公募研究

古典学の再構築

二十世紀後半の研究成果総括と文化横断的研究による将来的展望

総括班研究

研究代表者 中谷 英明

研究分担者 藤沢 令夫 高崎 直道 池田 知久 関根 清三 徳永 宗雄 内山 勝利
中務 哲郎 木田 章義 中川 久定 丸井 浩 斎藤 希史

本年度の主要な研究実績は以下のとおりである。

- 1 総括班会議開催
平成11年6月26日(京都), 7月18日(東京), 10月24日(京都), 平成12年2月20日(東京)(以上4回)
- 2 調整班会議・調整班研究会 (15回)
- 3 出版委員会
平成11年11月23日・東京。『講座古典学』(岩波書店)の企画および雑誌『文学』(岩波書店)の「古典学特集」の企画について討議。
- 4 東西古典学会準備委員会
諸領域の古典学の連携をはかる「東西古典学会」(仮称)の発足に向けて平成12年2月23日, 京都において初会合を開いた。
- 5 古典参考書編集委員会
数度の会合を開き, 古典学参考書編集方針を話し合った。
- 6 広報委員会
「古典学の再構築」ホームページをインターネット上に開設 (<http://www.kotengaku.bun.kyoto-u.ac.jp>)
- 7 公開シンポジウムの開催
 1. II. 「いま古典を問う」
(平成11年7月17・18日 於統計数理研究所)
 2. III. 「文明と古典」
(平成12年3月24・25日 於日本学術会議・東京大学文学部; 日本学術会議と共催)
- 8 出版物
 - (1) 『古典学の現在 I』(平成12年3月・神戸)
 - (2) 池田知久著『郭店楚簡老子研究』(平成12年・東京); 池田知久監修『郭店楚簡の思想史的研究』第三巻(平成12年・東京)
 - (3) ニュースレター『古典学の再構築』: 4号(平成11年9月), 5号(平成12年1月), 6号(平成12年3月)
- 9 データベース構築
 1. 文部省科学研究費研究成果公開促進費(データベース)申請
 2. サンスクリットテキストデータベース公開(『シヤクンタラー』, 『ニルクタ』)
- 10 「古典学研究所」構想
本特定領域総括班は, 日本学術会議の3研究連絡委員会(語学文学・東洋学・西洋古典学)に「新しい価値観の構築と古典学研究所について」を提案し, 報告案として採択された。この報告案は, 3研連の提案を受け, 学術会議第1部において審議中である。